

分野5：タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーとの関係の強化

中期目標：

日本とタイ、ベトナム、カンボジア、ラオスとの間において、要人往来を始めとする二国間の対話・交流や経済・安全保障協力の強化等を推進するとともに、日メコン協力を進めることで、自由で開かれたインド太平洋（FOIP）の実現に繋げる。ミャンマー問題については、事態の改善に向けた様々な関係者への働きかけや国際社会との連携に取り組む。

過去3年度（令和5～7年度）の主な成果	課題及び今後の方向性
1【政治・安全保障協力の強化】 ● タイ：令和7年11月に第10回日・タイ次官級政務協議を実施した。また、5月に実施した日・タイ外相会談及びワーキング・ランチ、12月に実施した日・タイ外相ワーキング・ランチにおいて「包括的戦略的パートナーシップ」の下、政治や安全保障を含む様々な分野での協力を強化することや、FOIP実現に向けた協力を確認した。 ● ベトナム：令和5年、日・ベトナム関係を「アジアと世界における平和と繁栄のための包括的戦略的パートナーシップ」に格上げすることで一致した。令和7年12月、初となる日本・ベトナム外務・防衛次官級協議（次官級2+2）を開催するなど、関係を強化させた。 ● カンボジア：令和5年、日・カンボジア外交関係樹立70周年の機会に、日・カンボジア関係を「包括的戦略的パートナーシップ」に格上げした。令和7年4月にはリアム海軍基地への自衛隊艦船の寄港が実現した。令和7年5月の首脳会談では、海洋分野や政府安全保障能力強化支援（OSA）供与を含め、安全保障分野での協力を更に強化していくことで一致するなど、関係を強化させた。 ● ラオス：令和7年、日・ラオス外交関係樹立70周年の機会に、日・ラオス関係を「包括的戦略的パートナーシップ」に格上げし、関係を強化させた。 2【経済・文化協力の強化】 ● タイ：令和5年12月、首脳会談を実施し、経済分野での協力強化を確認した。また外相間でも緊密にやり取りを行い、経済を含む様々な分野での協力を強化することを確認した。	1【政治・安全保障協力の強化】 ● タイに加え、ベトナム、カンボジア、ラオスとの関係を「包括的戦略的パートナーシップ」に格上げさせたことから、各国との更なる二国間関係の強化に向け、各種会談・協議などを継続するとともに、安全保障分野での具体的な協力を進めていく。 ● 令和7年に発生したカンボジア・タイ間の軍事衝突については、両国間の停戦合意の着実な履行を含む緊張緩和に向け、外交的働きかけを含め積極的に取り組んでいく。 ● 特殊詐欺の拠点が数多く所在する国との間で越境犯罪対策に向けた協力を強化していく。 2【経済・文化協力の強化】 ● 各国との「包括的戦略的パートナーシップ」の下、経済分野での協力の更なる強化に向け、メコン地域の貿易投資環境の整備及び日本企業の進出支援に引き続き積極的に取り組んでいく。

分野5：タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーとの関係の強化

過去3年度（令和5～7年度）の主な成果

- ベトナム：令和6年8月、日・ベトナム協力委員会を開催し、経済や人的交流、地方間交流を始め、様々な協力を進めることで一致した。令和7年4月、石破総理大臣がベトナムを訪問し、ベトナムの産業高度化、半導体分野の人材育成、グリーン・トランスフォーメーション（GX）・エネルギー分野の協力、ベトナムの投資・経済協力の環境整備や人的交流の活性化などについて議論した。
- カンボジア：令和5～7年度にかけて複数回の首脳会談及び外相会談を実施し、経済分野での協力強化を確認した。令和7年5月の首脳会談では、日本企業による対カンボジア投資を促進するための「経済共創パッケージ」を発出し、日本からの投資の誘致・支援に向けた体制強化や投資環境整備に向けて、協力していくことで一致した。
- ラオス：令和5年11月には、一般文化無償資金協力「チャオ・アヌウォン・スタジアム改築計画」に関する書簡の署名・交換が行われた。令和6年10月には、ビエンチャン国際空港の施設の拡張や改修を支援する無償資金協力の実施が決定された。令和7年1月、両国首脳が署名した日・ラオス共同声明において、ラオスの自律的で質の高い経済発展及び財政安定化に向けた協力などについて一致した。

3【日メコン協力の推進】

- 新型コロナウイルス感染症拡大やミャンマー情勢悪化などもあり、日・メコン外相会議を令和4年度及び令和5年度は開催できなかったが、令和6年7月、日・メコン外相会議をラオスにおいて3年ぶりに開催し、（1）ポストコロナにおける強じんて連結された社会（2）デジタル化（3）非伝統的安全保障問題への積極的対応の三つの柱から成る「日メコン協力戦略2024」を採択した。
- また、令和7年7月にも日・メコン外相会議をマレーシアにおいて開催し、「日メコン協力戦略2024」を踏まえた各分野での協力を一層深化させていくことで一致し、また、日メコン協力の着実な進展を確認した。

課題及び今後の方向性

- 文化協力については、2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）や日・タイ修好140周年といった機会も活用し、メコン地域の各国における対日理解の促進に取り組んでいく。

3【日メコン協力の推進】

- メコン地域は日本と密接な関係を有する、FOIPの実現にとって鍵となる地域であることから、日メコン協力の強化及びメコン地域の平和と安定の強化に向け、「日メコン協力戦略2024」に基づいて、連結性・防災・脱炭素化・デジタル化といった分野での協力のメコン地域の「面」での連携・展開が重要である。また、同地域を拠点に被害が拡大している組織的特殊詐欺など越境犯罪対策の強化が必要である。

分野5：タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーとの関係の強化

過去3年度（令和5～7年度）の主な成果

4【ミャンマー情勢改善に向けた取組】

- 令和3年2月のミャンマー国軍によるクーデター以降、ミャンマー情勢は悪化の一途をたどっている。日本は、令和5年2月以来降、7回の外務大臣談話を発出し、暴力の停止、被拘束者の解放、民主的な政治体制の早期回復を強く求めてきている。
- また、令和2年の総選挙で大勝した国民民主連盟（NLD）の政党登録抹消（令和5年3月）に際しては外務報道官談話を、緊急事態宣言の解除（令和7年8月）に際しては外務大臣談話を発出し、ミャンマーにおいて政治的進展が見られていないことに深刻な懸念を表明した。
- 令和6年5月、高村外務大臣政務官はミャンマーの少数民族組織の代表などによる表敬訪問に際して、日本として今後もミャンマーの様々な関係者との対話を通じて、事態打開に向けて取り組んでいく旨表明した。また、日本は、ミャンマー国軍に働きかけるとともに、ASEAN諸国を始めとする関係国と緊密に連携し、情勢の改善に向け取り組んだ。

5【日・ベトナム経済連携協定（EPA）に基づく看護師・介護福祉士候補者の受入れの推進】

- 日本は、令和5～7年度にかけて、看護師・介護福祉士候補者応募者数の増加を図るため、在外公館を通じた広報活動、既に日本語能力試験N3（日常的な場面で使われる日本語をある程度理解できるレベル）を取得している候補者を対象とした研修の短縮コースの新設、訪日前日本語研修の円滑な実施に向けたベトナム政府との協議などを行ってきた。
- 令和5年度の看護師・介護福祉士候補者に対する訪日前日本語研修の研修修了者数は100人、入国要件である日本語能力試験N3以上の研修修了者合格率は91.0%であったが、令和6年度は、研修修了者数は76人、研修修了者合格率は80.3%であり、令和7年度は研修修了者数は59人、研修修了者合格率は78.0%と低下した。（目標80%）

課題及び今後の方向性

4【ミャンマー情勢改善に向けた取組】

- 令和3年2月のクーデター以降、ミャンマー情勢の改善が見られない中、引き続き事態打開に向けて、ミャンマー国軍に強く働きかけ、幅広いミャンマー関係者と協議するとともに、ASEANを始め関係国と連携していくことが重要であり、情勢改善に向け引き続き取り組む。

5【日・ベトナム経済連携協定（EPA）に基づく看護師・介護福祉士候補者の受入れの推進】

- 訪日前日本語研修における応募者数の減少および日本語能力試験の合格率低下が課題となっている。応募者数については、在外公館を通じた広報活動の強化や、関係省庁・機関との連携を一層進めることで増加を図る。また、日本語能力試験の合格率を回復させるためには、ベトナムが研修施設費用の予算を着実に確保するため予算の早期確保を働きかけるなど、円滑な研修実施に向けた対応を進める。

分野5：タイ、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーとの関係の強化

過去3年度（令和5～7年度）の主な成果	課題及び今後の方向性
日本語能力試験の合格率低下については、令和6年度及び令和7年度において、ベトナムによる研修施設費用の予算確保の遅れにより研修の一部期間がオンラインでの実施となったことが要因と考えられる。	

備考：【令和7年度】地域情勢に即し、中期目標及び測定項目を修正した。

- 参考：
- ・外交青書（第2章第2節第4項：[令和6年版](#)、[令和7年版](#)、[令和8年版](#)）
 - ・[「日メコン協力戦略2024」](#)
 - ・[アジア](#)（[タイ](#)、[ベトナム](#)、[カンボジア](#)、[ラオス](#)、[ミャンマー](#)）

	入国年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
 日・ベトナムEPAに基づく看護師・介護福祉士候補者の受入実績（入国人数）	看護師候補者	22人	14人	15人
	介護福祉士候補者	127人	85人	55人
	合計	149人	99人	70人
	国別	令和5年度	令和6年度	令和7年度
 要人往来数 ※日本側は総理大臣及び外務省政務三役、相手国は原則として元首、首脳、外相	タイ	4回	4回	4回
	ベトナム	9回	8回	8回
	カンボジア	5回	6回	5回
	ラオス	5回	7回	4回
	ミャンマー	0回	0回	0回